

☆自由意見

- 日本の食品に対する法規制は欧米先進国に比べれば甘い様に思われる。(50代男性)
- 高校生になり、よく店で買ったものを食べるが増えたので、安くて、安全でおいしいものが身近で買えたらいいと思います。(10代男性)
- 安全を買えるなら、多少高くても良いものを買いたい。偽装がないというのが前提になります。(40代女性)
- 若い頃は栄養バランスや食生活などあまり考えず、悪くなって初めてあわてていました(持病あります)。今になり体力の衰え又抵抗力・メタボ・免疫など体質にも問題があると思います。若い世代に「3食の食事」、今言われている「未病と食」を少しでも知ってもらえるような取り組みを望みます。(60代女性)
- 和歌山で生産される材料を利用して、安心して食品を選べるように希望します。(50代女性)
- 毎日口にして、少しずつ蓄積されるものなので同じものを食べない様にしたり、産地などは気にしているがそれを信じられない(偽装の場合もある)時はどうしたらいいのか!?(40代女性)
- 昨今の報道関係を騒がせている食に関する不正を見る度に販売されている品物の表示等に疑問を持ちます。特に大手企業の流通機構に対して、不信感を募っています。外に出してしまえば関係ない様な仕方に憤りを感じます。何を基準にして生活をしてゆけば良いのでしょうか?(70代男性)
- できるだけ地産地消がよいと思います。食について興味はともありますが、知識不足なのでもっと地域の役所などを通して講習会などで勉強できる機会があれば参加してみたいです。(50代女性)
- 廃棄すべきものが市場に出まわったり、市場価格がさがるからと、野菜が捨てられたり食べられずに捨てられる食品の多さなど・・気になります。(60代女性)
- 子どもが生まれてから、食品添加物や農薬等が気になりはじめ、なるべく加工食品は使わず、なんでも手作りするようになった。外食も、手作りとうたっている店でも、加工食品、レトルト、イーストフードを使った既製のパンを使っていたりと、安心して子どもに食べさせることができないので、ほとんどしなくなりました。表示をきちんとしてほしい事と、添加物に関しても規制がゆるいので改善して欲しいです。(30代女性)
- 食が一番の楽しみです。安全・安心の確保のため県や国で検査・指導をきびしくして欲しい。日本の食品は安全だといわれていますが更なる安全の確保を望みます。(80代以上女性)
- 売れ残った製品の事で今問題になっているか、実際ただ捨てるのはもったいない。その活用があれば取り組みしている事を県民の友等に発表してほしい。(70代女性)
- 地産地消で安心していただいております。幸い兄、弟が専業農家でお米や野菜が調達出来健康な食生活を送れることに感謝しています。3食バランスよく作り家族は比較的に元気です。(80代以上女性)
- TPPで国内の規準が、通用されなくなり、遺伝子組み換え等の食材が、広範囲に入ってくる事が心配。(60代男性)
- 偽装表示、廃棄処分品を横流し?等、いつになったらそういう事はなくなるのか、消費者が安全に食品を手に入れられるようになる事を願う。(50代女性)
- 食の安全が様々な形で脅かされている現在常日頃から食に対する意識をしっかりと持たなければいけないと感じています。(50代男性)
- 食品添加物に気をつけ、自分の健康の為に食の安全に気をつけていきたいです。(50代女性)
- スーパーや飲食店、食品を扱うお店で、放射性物質の検査をしている所が増えれば、ありがたいと思います。更に検査した数値も表示してもらえたら、安心して食べれます。(30代女性)
- 未来ある子供達の為に保育園や学校給食の素材の安全性を確保して欲しい。食材だけでなく、食器の洗剤にも気を使って欲しい。合成界面活性剤を使用していない台所用洗剤を使って下さい。(60代女性)

- 食は大事と思っているけれど、背に腹は変えられない感じで自分の食べるものなら安い方を選んでしまいます。高くても表示が信頼できるかわからないし、外でいろいろ食べてたら一緒かな…と。でも、本当に信頼できる畑や場所のお料理を食べられると、やっぱりおいしいし幸せを感じます。(30代女性)
- 放射性物質の危険について、何をどこまで安全ととるかは各自に任せるにしても、検査や規準のわかりやすい情報があまりにも足りないと思います。(50代女性)
- 安全安心の食、完全を要求するのは無理があるでしょうか。偽装表示はみんなの口に入ってから発覚いつもガッカリさせられて居ります。又、放射性物質については、検査されているのでしょうか。(70代女性)
- 食文化と言うもの自体が変化して来ていると思います。昔の食の方が安全でまた栄養バランスもよく体にいい物だったんだろーと思います。(40代女性)
- 生産者や食品事業者を信じるしかないのですが、現在はそれを監督して頂く事も必要ではないでしょうか。(60代女性)
- 和歌山県は、農・水産業が豊かですが、大手スーパー(和歌山県内の)では、地元のものがあまり店頭になく、購入できず残念です。(40代女性)
- 食は大切な事なので子供にはなるべく国産の安心安全なものを食べさせるようにしていますが表示が正しいかは不安です。地産地消をもっと身近に感じれるようにスーパーなどへの売り込みをたくさんして身近に手軽に地産品を買える場所を望みます。(40代女性)
- 健康で自立した生活を送るためには食生活が大切だと思います。和歌山産の肉や卵、野菜、果物の安全性のPRをしてほしいと思います。(50代女性)
- 食については心配ですが、毎日口にする物の為つつい価格第一になってしまいます。認証商品イコール高い又はおみやげ的な品にならない様、もっと身近にこそ認証品が手に取れる様に取りくんでもらいたいです。(40代女性)
- どんな情報が正しいのかわからないことが多い。食の安全に対して、テレビ和歌山、和歌山放送ラジオなど、地元の人が見るものに、もっと情報を載せて欲しい。正しい手洗い方法からスタートして、食の安全と対策などがもっと見えるところにあることで、自主的に意識するように推進できればいいと思う。偽装表示をしたりした会社は、徹底的に排除して欲しい。(30代男性)
- 食は生活の基本、中心であり、各個人が食についての理解度を深めることが大切。また、県や各行政の関係機関もさらなる食のPR等を行い、住民の知識を広められる活動が必要に思う。(60代男性)
- 子供への教育が一番大切。学校、スーパー、図書館、病院・・・人が日常使う施設を学びの場に活用して、大人も子供も広く知識を得る機会があればと思う。(30代女性)
- 生産者さんのお顔が見える食品には安全性を高く感じる。購入者が自分自身で安全な食品を選べる知識や向上心を持つことが大切。(50代女性)
- 最近調理済のものをレンジでチンするだけでおいしく頂けるようになった。それだけ提供する業者の信用が大事になると思う。行政には品質管理の指導を強化されることを期待します。(70代男性)
- スーパーでまだ食べれる食品を大量に廃棄処分されているのを見ると色々なことを考えさせられます。もっと有効利用・活用できないもののでしょうか。(50代女性)
- 以前と比べて「食」に対する知識がもっとも必要であると感じています。あまり気にしていない人が多いように思います。(50代女性)
- 世界では満足に食事が出来ない人々がいる一方、日本でも同じ様な人々もいますが、それらの一方で、期限切れで廃棄される食品も多数有り、矛盾の多い世界ですね。(50代男性)
- 流通している食品が、安全であることが一番。出来ない事業者には、退場して欲しい。疑心暗鬼になり、1つ1つ商品を選ぶ社会は廃れます。(50代男性)
- 廃棄食品の転用ニュースには驚きました。一社だけが請負を独占しているからこんなにも長い期間、消費期限切れの商品を食べさせられていたのかと腹立たしい思いです。(70代女性)
- 衛生の面での安心と食品添加物の面での安心は共存できるのか。お弁当の消毒薬臭い野菜やコンビニの賞味期限の長い食品など、食中毒を出さないためにどんな処理をしているのかわからないし、情報もないので、できれば食べたくないと思う。(30代女性)

- 農産物・水産物は和歌山県産を優先して購入しています。やはり産地が明確で安全・安心です。野菜等は和歌山県産は少なく感じますが、県外へ流通しているのでしょうか？規格外品（サイズ不揃や形が変形した物）とかも流通させてほしいと思います。（品質は変わらないので）（60代女性）
- 「食」に関する問題は次から次へとおこっています。色々なことが言われていますが、「食べる」ということを大事に考えれば少しでもそういうことが減るのではと思います。又情報については、自分からとらないといけないことが多く、誰にでもわかりやすく自然に入ってくるようにしてほしいと思います。（50代女性）
- 食品購入時は裏面の賞味期限、製造年月日を確認するも食品表示は詳細について知識も乏しい事から気にせずにはいましたが、注視していこうと思います。又知名度の高い商品、知名度の有る製造業者が安心食品として選ばれる要因の一つでありますが小売業者としても製造業者が偽装していることは、判断の難しいとも言えます。（60代男性）
- 原産地や加工食品の原材料など消費者としては、表示を信用するしかない。偽装表示事件やこの間の廃棄物横流し事件など氷山の一角としか思えず、中国の状況など日本は笑えないのではと不安にはなっています。（50代男性）
- すべてについて言えることですが、リスクを0にするということは不可能ですので、その中で如何にそのリスクをコントロールして行くかということが問題になってくるのではないのでしょうか。そういう意味で、リスクについての説明やその内容がわかりやすく、扇情的にならない程度で説明されるような機会があるとよいかと思います。（30代男性）
- 食の安全・安心を推進するには、製造する側（製造者・生産者）と商品を購入（消費者）がともに食の安全・安心について正しい知識を身に着ける必要がある。（20代男性）
- 消費者、事業者ともに安全に対する意識を高く持つ必要があると思う。（30代男性）
- 本当に素材がよく、体にもいいおいしいものであれば、多少高価なものであっても需要はあると思うので、子どもやお年寄り、食物アレルギーをもつ人にとっても安心して食べられるものがもっと普及してくれたらいいと思います。（20代女性）
- 期限切れの食品が平然と並んでいたり、買い物して食品を入れる籠が、汚れていたりするのは気持ち悪く感じる。（50代女性）
- 素材を買って、自分で調理したものを食べれば、一番体にいいだろうとは思いますが、日々の忙しさに追われて、外食や加工食品に頼ってしまいます。365日中どれだけきちんとした食事を摂れているのか考えてしまいます。（40代女性）
- 和歌山にはいっぱいおいしい食べ物があります。それらを安全・安心に食べられることが一番だと思っています。また、地道なPR活動も大切かと思っています。（50代女性）